

会 議 録

会 議 名	令和6年度山形市健康医療先進都市推進協議会 幹事会
開催日時	令和6年7月25日(木) 午前10時00分～11時30分
開催場所	山形市保健所 大会議室
主 催	健康増進課
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議 題	報告 (1)健康医療先進都市の推進に向けた山形市の取組について【資料1】 (2)「(第二次)山形市健康づくり21」の進捗状況について【資料2】 (3)「山形市健康と生活に関するアンケート調査」の結果について 【資料3】 協議 (1)健康医療先進都市の推進に向けた今後の取組について(案)【資料4】 (2)第三次健康づくり計画の骨子案について【資料5】 (3)その他
資 料	当日資料参照
傍 聴 者	一般0名 記者0名
作 成 者	健康増進課 主査 五十嵐

会議結果

1 開会 進行 【健康増進課 管理係長】

2 報告

(1) 健康医療先進都市の推進に向けた山形市の取組について **資料1**
資料に基づき事務局から説明。

質疑応答

【幹事】

- ・減塩料理の調理が難しいと思われる在宅単身高齢者に向け、SUKSK減塩野菜たっぷりレシピ集を提供してはどうか。
- ・SUKSKの啓発に関しては、各地区の委員長会議や正副委員長会議、各地区の総会や各町内会自治会のいきいきサロンなどでの周知啓発が有効ではないか。
- ・歯への取組が重要であるとする。

【事務局】

- ・昨年、正副会長会議でSUKSK健康講座を周知させていただき、各地区の方から利用いただいている。これと同様に、自治推進委員の会議や地区の取組に足を運ばせていただき、SUKSK減塩野菜たっぷりレシピ集のPRや単身高齢者の方へレシピ集をお届けする取組を進めていきたい。これからも自治推進委員の皆様にご協力をお願いしたい。
- ・歯科医師会と連携し、新たな表彰制度やライフステージに合わせた取組などを進めていきたいと考えている。

【幹事】

- ・職域を中心にSUKSKアプリ登録の支援をしてきた。市内に600名弱いる事業所の健康保険委員へ、年4回SUKSKのリーフレット等を送付し周知した。昨年の同時期、登録事業所は60カ所程であったが、今年は83カ所となっており、登録数の拡大に繋がったのではないかと感じている。
- ・SUKSKアプリに登録をしても、実際に登録した全員が利用している訳ではないと感じる。稼働率を高めていくことも重要ではないか。
- ・市が把握しているデータは、国民健康保険及び後期高齢者が主である。社会保険のデータ共有について、今後具体的に進めてほしいと考えている。
- ・子どもの受動喫煙防止について、周知が広がっていないと感じる。本町や七日町には禁煙である掲示があるにも関わらず、歩行喫煙者が見受けられる。歩行喫煙の完全禁止、そして山形駅前から文翔館まで「禁煙区域であること」を見える化することが有効ではないか。

【事務局】

- ・SUKSKアプリにおける歩数送信頻度に個人差があるため、アクティブユーザー数を把握することが難しいことが課題の1つだと捉えている。ただし、過去2年間全く利用しない方などについて、アプリ開発事業者であるNTTドコモと定期的に情報交換は行っている。利用しない方を可能な限り少なくする取組に加え、楽しみながら取り組んでいただく取組を進め、アクティブユーザーを増やししていきたい。また、全国健康保険協会 山形支部と連携することでアクティブユーザーが増えると考えているため、今後も連携、協力をお願いしたい。
- ・今年度新たに導入予定のAI健診アプリはマイナポータルと連携しており、マイナンバーカードを使用することで社会保険の方の健診データも自動的に取り込めることになる。この新たに導入するシステムについても全国健康保険協会山形支部と連携させていただき、各企業の従業員への周知を進めていきたい。
- ・受動喫煙の防止については、法律上努力義務となっているが、受動喫煙による健康被害から子どもたちを守るために山形市では独自に条例を定めた。今後は条例制定の目的を踏まえた取組を進めていきたい。取組を進めるにあたり、1点目として路上での喫煙を防止する禁煙マナーストリートを所管する環境部門と連携をしながら周知・啓発をしていきたい。2点目として次期健康づくり計画の中で、受動喫煙を防止するための環境整備と、喫煙をやめたい方へ禁煙を促進する取組の2つの視点で事業を推進していきたいと考えている。こちらも全国健康保険協会山形支部と連携して取組を進めていきたい。

【幹事】

- ・アナログ時代からデジタル時代になったことを受け、去年から年3回スマホ講座を実施しているが、中々わからない事が多く苦労している。高齢者のレベルをきちんと把握し、事業を進めて欲しい。

【事務局】

- ・健康ポイント事業SUKSKのアプリだけでなく、これからは様々な取組で、アプリやスマートフォン、パソコン等でサービスを提供するものが広がっていくと思われる。そのため、高齢の方でも使い勝手が良いものにしていきたい。またこちらの方で出向いて、登録の仕方をサポートする取組も皆様のご意見を参考にしながら進めていきたい。

【幹事】

- ・初心者にもわかるような手引書を作ってもらいたい。

【事務局】

- ・手引書の内容等について、高齢者の方の意見等も踏まえながら作成したい。

(2) 「(第二次) 山形市健康づくり 2 1」の進捗状況について **資料 2**
資料に基づき事務局から説明。

質疑応答なし

(3) 「山形市健康と生活に関するアンケート調査」の結果について **資料 3**
資料に基づき事務局から説明。

質疑応答

【幹事】

- ・検診を受けた方で、有所見だったが、医者にかからない方が 6 割近くおり、その方々に対する対策が 1 つの大きな課題である。
- ・健康に関心の薄い方に振り向いてもらうには、啓蒙活動だけでは難しい。健康のリスクが顕在化していることを意識することで初めて健康について考えると思われるので、こうした視点を踏まえた周知の方法も必要だと考えている。

【事務局】

- ・健康に関心のない方への対策が 1 番大事であり、1 番難しいことだと思っている。一方で、健康経営を推進することがどの企業にとっても大きな課題となっている。こうした状況を踏まえ、これからは、各企業が福利厚生の一環として健康に関する取組を進めていただき、それを行政が後押しさせていただくことで、関心のない方に少しでも健康に関心を持っていただく取組を進めていきたい。

【幹事】

- ・歯周疾患検診の受診率が非常に低いことが問題になっており、どのように受診率を高くしていくかが課題である。働き盛りの若年層の方から歯周疾患について関心を持ってもらえるように、企業とうまく話し合っていきたいと思っている。
- ・3 歳児健診でむし歯がある子どもの割合は数値としては減少しているが、非常に二極化しており、むし歯がない子は全くないが、むし歯がある子は何本もあるという状況である。また虫歯がある子は受動喫煙の被害を受けているケースが高いため、子どもの健康格差をどのように小さくしていくかが非常に大事だと考えている。

【事務局】

- ・子どもたち一人ひとりを様々な視点から見ていくことも今後必要になってくる。こうした視点を勘案しながら次期健康づくり計画を策定していきたい。

【幹事】

- ・喫煙者について、30 年ぐらい前は 7 5 3 という言葉があり、高校生と女性は 7 割、中学生は 5 割、小学生は 3 割喫煙者がいると言われていたが、現在の小中学生、高校生の実態をしっかりと把握するため、学校側で調査して、なぜ喫煙が悪いのか教え込まないといけな

いと思う。

- ・企業でも社長自らが指導できる体制をつくる事が大切であると考えている。

【事務局】

- ・未成年の喫煙について、実態を把握することは難しいが、喫煙に関しても、また受動喫煙防止に関しても、企業や学校と連携しながら取組を進めていかなければ実態に即した改善が図られないと考えている。今後は、各学校や教育委員会、全国健康保険協会や企業と連携しながら取組を進めていきたい。

3 協議

(1) 健康医療先進都市の推進に向けた今後の取組について (案) 資料 4

資料に基づき事務局から説明。

質疑応答

【幹事】

- ・SUKSKメニュー提供店の拡大について、食材費が高騰しているなか、今後、どのようにして提供店を拡大していくのか、その具体策について教えてほしい。

【事務局】

- ・中心市街地以外のエリアへの店舗の拡大について、より様々な店舗から協力していただけるように周知・啓発を図っていきたい。
- ・全てのメニューについて県栄養士会が基準の適合状況について厳格に評価をしているため、同会の負担が大きくなっている。そのため、常に栄養士会の審査状況と申込状況のバランスをとる必要がある。今後は店舗拡大に向けた周知啓発の取組に加えて、基準を少し緩和する取組も併せて行い、提供店を増やしていきたい。
- ・提供食数について各店舗の1日当たりの食数で考えると少ない数字になるが、この要因の一つとして、お支払いの際にお店側がお客様に二次元コードの読み込みに関するご案内をしていないことが考えられる。そのため、今後はこうした事案が発生しないよう、提供店に働きかけるようにしたい。
- ・お店側への周知、栄養士会の基準の緩和、利用したお客様に対してきちんと健康ポイントを獲得していただく、この3点で提供店の拡大やSUKSKメニューの利用拡大を図っていきたくと考えている。

【幹事】

- ・1ページの(2)足の健康に特化した健康講座の開催は、非常に関心のある事項である。加齢に伴って、足腰が動かなくなり、様々な活動ができない方が増えていると思う。私達を取り組めるような事案があれば積極的に取り組んでいきたいので、今後予定している講座があれば教えてほしい。

【事務局】

- ・大きなイベントとして、7月6日に足に特化した健康講座を開催した。10月にも道の駅を使わせていただき、広く市民向けの健康講座を実施する予定である。またこれからは、地区においても足の講座を開催していく必要があると考えているため、SUKSKマイスターと連携しながら取組を進めていくとともに、こうした情報を「広報やまがた」などを通して周知していきたい。

【幹事】

- ・SUKSK減塩・野菜たっぷりレシピ集の普及というところで、保育園・こども園の給食では、子ども達に野菜をたくさん摂ってほしいので、盛り付け方等を工夫して提供している。また保護者も子ども達には野菜をたくさん摂ってもらいたいという思いがあり、苦勞しながら食事を出しているようである。山形市内の保育園には子育て支援センターが併設しており、そこで出前講座を開催してもらい、子どもと保護者が一緒に参加できればいいと感じた。ぜひ一緒に取組をしていきたい。

【事務局】

- ・小中学生にレシピ集のメニューを食べていただく取組として、今年度よりレシピ集に掲載されているメニューを学校給食で提供するSUKSK給食を実施する。今後は保育園でも提供していきたいと考えている。
- ・SUKSK健康出前講座を実施しており、そのメニューの中には減塩講座も入っている。この取組を各地区における保護者のグループ等で活用していただければ、地域に出向き要望に沿った健康講座を行うことも可能であるため、ぜひ活用いただきたい。

【幹事】

- ・学校周辺の路上での受動喫煙防止については、行事や部活動で来校した保護者が路上で喫煙する場合などが想定されるため、各学校や部活動顧問に協力をお願いしている。
- ・受動喫煙と合わせて、飲酒や薬物乱用防止について薬剤師の先生や警察の方から講話をしていただいている。今後もこれらの教育指導に力を入れていきたい。

【事務局】

- ・各学校や教育委員会と連携し、受動喫煙や禁煙の防止について取組を進めていきたい。引き続き協力と連携をお願いしたい。

【幹事】

- ・最近高校生の薬物乱用や大麻使用率が山形市内でも増えている。喫煙関係に取組んでいる学校や薬剤師は多いが、これからは薬物乱用防止活動にも力を入れる必要がある。
- ・薬剤師としては科学的な観点から危険性を話す事ができるので、市教育委員会や学校関係の方と連携して取組んでいけたらいいと思っている。

【事務局】

- ・喫煙や薬物乱用のきっかけは心の健康も影響していると思う。当課ではひきこもりや自殺対策も所管しており、心の健康も広い意味では健康づくりの中の一環なので、間接的にはなるかもしれないが、教育委員会と連携しながら、何らかの取組を進めていきたいと考えている。

(2) 第三次健康づくり計画の骨子案について 資料5

資料に基づき事務局から説明。

質疑応答

【幹事】

- ・当協議会はSUKSKの食事のSや運動のU、社会のSに関係する団体であり、公民館やコミュニティセンター等で頭の運動やお口の体操、ウォーキング等様々な運動を楽しみな

がら行っており、山形市再発見ウォーキングも大変好評である。皆さんにも是非参加していただきたい。

【幹事】

- ・新型コロナワクチン接種後の後遺症について、実態を調査し公表する等の取組をしてほしい。

【事務局】

- ・新型コロナワクチン接種後の健康被害については、山形市保健所をはじめとした各保健所が申請窓口になっており、申請を受理したものは国に進達し、その後、国がコロナとの関連性に関して、1件ずつ適切に検証している。検証結果は当課でも確認しているため、個人情報に関する部分はお示しできないが、コロナによる健康への様々な影響等をまとめた資料ならば公表できる。なるべく市民の方にも説明できるような形で、公表させていただきたい。

【幹事】

- ・少子化が前倒しで進んでいる事を大変実感しており、将来を支えるのは子ども達なので、少子化が少しでも進まないようにするための対策が必要だと思っている。
- ・今年度より、5歳児健診が始まり、より子ども達が安心して就学に向かえるようになるので、そちらの健診について期待している。
- ・育児負担というところで、保護者には安心感を持って子育てしてもらいたい。山形市の子ども達は山形市で健やかに育つよう取組を進めてもらおうと、お子さんをお預かりしている保育園・こども園としても心強いので、ぜひそちらの方も計画の方に盛り込んでほしい。

【事務局】

- ・出産、子育て支援の部分については、基本施策の3番の中で女性の健康の部分も含めた形で1つにまとめている。出産育児に対して正しく理解していただく部分と、あとは出産後にそれぞれのお子さんの成長段階に合わせた適切なサービスのほか、サービスの受け漏れがないように切れ目のない支援を受けていただくためプッシュ型の通知で情報提供を行うなど、ご提案いただいたことを含めて様々な視点で次期計画に盛り込んでいきたい。新たな取組としては、国が母子保健サービスについてのDXを進めようとしているので、その点についても計画に盛り込みながら取組を進めていきたい。関係機関や保護者の方の意見を聞きながら、漏れがないように計画に盛り込んでいきたいと考えているので、これからも情報交換についてよろしくお願ひしたい。

(3) その他

なし。

4 その他

次回の幹事会開催について

令和7年1月16日(木)午後2時より予定している。

5 閉会